

## 「高山村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に関する意見公募の結果について

高山村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、皆さまへ情報提供を行い、意見募集を実施いたしました。

以下に皆さまから寄せられたご意見及び村の対応を報告いたします。

多くのご意見をいただきありがとうございました。

### 1. 意見公募の実施状況

#### (1) 募集期間

平成28年2月15日（月）～平成28年2月26日（金）
-----------------------------

#### (2) 閲覧場所

村ホームページ	村内掲示場
高山村役場 (地域振興課窓口)	いぶき会館 (教育委員会事務局窓口)

#### (3) 意見者数及び意見件数

意見者数及び意見数	意見者数	2名
	意見数	10件
男女内訳	男性	2名
	女性	0名

#### (4) 提出方法の内訳

F A X	持 参	電子メール	計
0	0	2	2

## 2. 意見の内容と村の考え方

No.	計画の該当箇所	意見の内容（要約）	村の考え方
1	P15 「2 一村一校園所による「豊かな心と確かな学力を育む」特色ある教育の推進」－ 「(2) 教育・就業支援の充実」	高校生就学費補助制度、奨学金貸与制度（育英基金）の他に日本育英会の奨学金や金融機関の教育資金への利息補助を実施するのはどうか。	村では、保護者の経済的負担を軽減し、生徒が希望する高等学校等への就学を推進するため「高校生就学費補助制度」の実施、経済的理由により修学困難な高等学校・大学等修学者への学資の貸与（無利子）として「奨学金貸与制度（育英基金）」を実施しています。 今後も、教育資金面の援助について柔軟に対応し、当事者が有効に活用できるよう、ご意見を参考に検討いたします。
2	P18 「4 安心・安全な暮らしの充実」－ 「(2) 高齢者福祉の充実」 P22 「1 観光・都市交流の推進」－ 「(1) 道の駅の利用促進」	道の駅の機能強化策として、以下のような事業を行ってはどうか。 ・地元農産物の確実な販路の提供。 ・お客さまニーズを活かした売れ筋の農産物栽培の指導。 ・買い物弱者となっている高齢者のために安否確認も可能なタブレットを使ったネットスーパーの展開。 ・高齢者の交流の場として、道の駅への買い物バスの運行。	道の駅については、地域交流や地域産業の活性化と連携、観光振興等、村の中核をになう拠点施設としての役割が期待されています。 今後も、道の駅が多くの役割を果たし、多様面に寄与するようご意見を参考に可能性について検討いたします。
3	P19 「1 農業の担い手の育成確保と農地の有効利用」－ 「(1) 農業担い手の育成確保」	村外からの農業者の受入策として、畜産団体の整備や耕作放棄地の集約に助成する等の具体策を明示したらどうか。	ご提言いただきました内容については、雇用創出・税収面等において期待がされます。住環境・自然環境への影響等も鑑み、今後の検討の余地があると考えます。 また、耕作放棄地については、既存の耕作放棄地解消に係る事業を周知するとともに、適正な土地利用について検討いたします。

4	<p>P20</p> <p>「2 農産物のブランド育成及びPR・地域農業の活性化」－</p> <p>「(1) 農産物のブランド化の推進」、</p> <p>「(2) 6次産業化の推進」</p>	<p>農産物のブランド化の開発・PR策として、高校や大学と連携を図ってはどうか。</p>	<p>村では、りんどうについて、県内の高校と連携し、ブランド化を図っているところですが、他の農産物においても、可能性について今後検討いたします。</p>
5	<p>P21</p> <p>「3 各産業の育成支援及び就労機会の創出」－</p> <p>「(1) 起業支援」－「創業支援」、「企業支援」、</p> <p>「(2) 雇用の拡大」－</p> <p>「企業誘致の推進・支援」</p>	<p>高山村の将来あるべき姿をイメージし、地域特性や資源の有効活用を勘案して、どのような起業を支援し、また、どのような企業を誘致するのか、その業種や業態について今少し明確化、具体化を図ってはどうか。</p>	<p>ご提言のとおり、地域特性や資源の有効活用、地理的条件等を勘案した戦略的な企業誘致方策について、検討する必要があります。</p> <p>また、認定を受けております「創業支援計画」での支援内容も踏まえ、今後、議論・検討いたします。</p>
	<p>P16</p> <p>「3 移住・定住の推進」</p>		
6	<p>P11</p> <p>「1 出会いから、結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援」</p>	<p>出会い後のアフターフォローも必要ですが、このイベントをきっかけとして結婚につながることに、高山村に定住してもらうことが必要だと思います。</p>	<p>今後、村で設置する「移住・定住・交流促進検討委員会」に報告し、このようなイベントを契機とした定住促進への取り組みについても、議論・検討いたします。</p>
7	<p>P16</p> <p>「3 移住・定住の推進」</p>	<p>空き家の利活用において、村が空き家を借りて、補修・改修をして、ようやく住めるようになったところで、持ち主が使うから出て行ってくれというような状況があった例がある。</p> <p>そのため、移住・定住における空き家の貸し借りについては、少しでも定住・移住される方が長く住めるように、借り主・貸し主への高山村独自の優遇策などを検討してほしい。</p>	<p>村では、来年度、空き家の現況調査を実施する予定です。</p> <p>また、今後、村で設置する「移住・定住・交流促進検討委員会」において、空き家の利活用を含めた横断的な事業展開について検討を行う予定ですので、ご意見を参考に検討いたします。</p>

8	<p>P20</p> <p>「2 農産物のブランド育成及びPR・地域農業の活性化」</p>	<p>各農産物について、実際にどのような組合があり、栽培・製造しているのか、村民でも知らないことがあると思うので、高山村発の「生産者がブランド」という考え方を推し進めていただきたい。</p> <p>また、ブランド育成・販売促進・PRなどは、民間がやるべきことだが、行政と共同のもと、販売促進やPR・生産者組合情報などは、インターネット等により情報発信してはどうか。</p>	<p>ご提言のとおり、生産者・道の駅・行政等が連携を図りながら推進してまいります。</p>
9	<p>P22</p> <p>「1 観光・都市交流の推進」－</p> <p>「(1) 道の駅の利用促進」－「道の駅機能強化について」</p>	<p>公園整備・道の駅全体の配置構成の再検討</p> <p>今後整備予定である道の駅に隣接される公園について、パース図を拝見させていただきましたが、公園施設及び道の駅全体の配置をもう一度、見直してほしい。</p>	<p>「道の駅公園整備検討委員会」に報告するとともに、全体の配置等については、村で策定しました「むらの中心地づくり基本計画」との整合を図りながらご意見を参考に検討いたします。</p>
10	<p>P22</p> <p>「1 観光・都市交流の推進」－</p> <p>「(1) 道の駅の利用促進」－「旧三国街道新田宿復活祭の実施」、「ふるさと祭りの実施」</p>	<p>高山二大まつりの内容の検討</p> <p>毎年、同じやり方に固持せず、新しいやり方を模索する時期にきているのではないか。</p> <p>せっかく、山車や太鼓がそろっているのですから、新しい「むらまつり」として、観光客を呼び込める方法を村民から募集してもよいと思う。</p>	<p>「ふるさと祭り実行委員会」及び「旧三国街道新田宿復活祭実行委員会」に報告するとともに、ご意見を参考に新たな運営方法や観光客を呼びこむための企画立案等について検討いたします。</p>

以上